



新春を迎えて

市原 美幸

葉を落とした木々の隙間から広がる澄んだ青空とまばゆい日差しは幾らか冬の寒さを和らげてくれますね。

激戦の2022年が去り、新たな年を迎えました。皆様それぞれの想いを抱きながら、新年をお迎えの事と思います。

当会では今年度の総会以降、「がんをもっと身近にとらえて知ることが出来るために」のテーマを主軸として、11月の講演会開催、協働まつりに参加しました。



講演会と協働まつり

11月23日の講演会では、入口陽介先生(東京都立がん検診センター 所長)により、「大人のがん予防～正しい知識から～」と題して、ご講演を頂きました。

文部科学省の中高生へのがん教育プログラムから、がんという病気について分かり易く教えて頂き、がん検診による早期発見の重要性を、先生のご専門である消化器系のがんを中心に統計やがんのリスク、生活習慣、危険因子、治療等々を通して、がん検診による早期発見の重要性を伝えて頂きました。

また、「がんを防ぐために今日から始める12か条」については、自分の生活習慣を改めて見直す機会にもなりました。

11月27日には府中市民協働まつりで3年ぶりにブース会場を設定し参加いたしました。

今回は、先の講演会でお世話になりました、東京都立がん検診センターの職員の皆様にもご協力を頂き、マンモモデルによる乳がん早期発見の啓発やがん予防、がん検診の冊子の配布により、東京都立がん検診センターの紹介、がん検診の呼びかけを行うと共に、信頼できるがん情報について、抗がん剤 Q&A の展示、がん情報冊子の配布等で、立ち寄ってくださった幅広い年齢層の方々へ、がんを身近に、自分事としてとらえてもらえるよう働きかけをしました。

予防・早期発見・共生

当会はこれまでがんに罹患後のテーマを中心に取り組んでまいりましたが、発足20年が過ぎ、がん情報も様々に変化していく中、今一度原点に立ち戻り、現在のがん情報について正しく知ること、予防、早期発見していく事、そしてがんになった時に、冷静に正しい情報をとらえ、その人の望む治療や療養が安心し

て受けられ、がんとの共生ができるように、がん患者さんやご家族を支える事、そして、その時々タイムリーな正しい情報を皆様にお伝えできるよう目指していきたいと思うところです。

「日本人の2人に1人が生涯でがんになる」は2007年国立がん研究センター がん対策情報センターによる推計値として公表され、早や15年が経っております。昨今ようやくメディアやコマーシャルでも頻繁に耳にする機会が増えてきました。そして一部の地域や団体ではがん防災マニュアルの普及も進んでおります。

そういった新たな取り組みについても情報発信して行く一方で、会の皆様からご意見やご要望を気軽にお寄せいただける事も期待しております。

新年からも変わらず、皆様の会の活動へのご理解、ご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。そして、皆様方がそれぞれ平穏な新年をお迎えでき、新たな一歩として前に進んで行かれます様、役員一同心よりお祈りいたしております。

講演会報告

「大人のがん予防 ～正しい知識から～」

宮田乃有

2022年11月23日(水)14:00～15:30 プラッツ第3会議室にて、地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立がん検診センター 所長 入口陽介 医師をお招きし、上記表題の講演会を開催しました。参加者は会場が会員16名・非会員8名の計24名、内オンライン参加者が6名でした。



新型コロナウイルス感染症の流行の再燃が懸念され、また当日は冷たい雨が降り気温も下がるなか、思いのほか会場にお運びくださった方がいらっしや、関心の高さがうかがえました。

講演はまずがんによる死亡数やがんになる人の割合から始まり、がんができる仕組みや原因についての解説、がんになるリスクを減らすためのアドバイスがありました。

近年は、中学・高校の生徒を対象として、がんという病気を理解するための「がん教育プログラム」が提供されているそうです。

その後、がん検診の種類と受診率、がんの治療法は主に3つ(手術療法、放射線療法、化学療法)について紹介されました。がんの治療法にはそれぞれメリット・デメリットがあり、治療法を決める時にはインフォームド・コンセント(十分な説明と説明の理解)が大切であるとおっしゃっていました。

最後に、大腸がん、胃がん、肺がん、子宮頸がん、乳がんについて、患者数と死亡数の概要、原因とさまざまな精密検査の方法について紹介されました。日本は部位別のがん検診の受診率がほとんど半数以下とのことです。診断・検査技術は進化しており、早期発見すれば命に関わらずに済む場合もあります。

大腸がんについては、より体の負担の少ない大腸 CT という方法もあり、とにかく検診をうけることが大事だ、とお話しされていました。

当日は東京都立がん検診センターのご協力と、同センターの保健師でいらっしやる横山康子さんのご協力により、同センターで発行している「5大がん(大腸がん、胃がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん)」の

「正しい知識」として、それぞれのがんの概要や原因、検査内容と治療が端的にまとめられたリーフレットを会場内に設置・配布させていただきました。



横山さんをはじめ、東京都立がん検診センターの方々とは11月27日に開催された「府中市民協働まつり」でも「府中がんケアを考える会」にご協力いただきました。今後とも連携していく予定です。

11/23 講演会のアンケートについて

2022年11月23日に行なった入口陽介先生の講演会に Zoom や会場にご参加いただき、また当日の講演会終了後にアンケートをお願いしたところ、ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

年齢・性別

まず、参加された方々の年齢層は50代から80代後半までの方々に、女性と男性の比率もほぼ同数でした。がんとの関りについては、がん経験者が3名、ご家族やご遺族にがん経験者がいる方は9名でした。

質問内容

がん経験者や当事者のご家族・ご遺族が必要だと考える支援や情報についてお聞きしたところ、多かったのが治療費などの経済的なことについてでした。

次に多かったのが、医療関係者(医師、看護師、相談員その他)についてと、緩和ケアとホスピスについてでした。その他にも、医院についてと行政の支援についての情報を希望される方がおりました。



コメント欄には「治療していく病院や先生を決めるのが大変でした」や「膀胱癌の再発で私自身が困っています。再発して手術の度に体が衰えていくのを感じます」と答えた方もおられました。

一方で「都立がん検診センター、多摩総合医療センターが連携して安心。費用は保険が充実」と記載された方もいました。

他にも今後望む情報や支援についてお尋ねしたところ、「患者のQOL向上の仕方」、「治療費の支払い」、「コロナ禍で弟の治療やケアが十分できずに亡くなった」、「がんの治療方法」という声がありました。

貴重な声をお寄せいただきありがとうございました。

アンケートをいただいて

患者のQOL向上については、緩和ケアを通じて当事者と医療関係者の信頼関係を構築しながら、がんを抱えながら過ごす方も、治療しながら仕事もプライベートも自分らしい生活を過ごすことができるように環境を整え、周りの理解を深める事などが必要ですね。

治療費の支払いについては、治療方法にもよりますが、標準治療とは違う治療を行う場合はかなり高額な治療費が求められることもありますので、健康保険でカバーできることやがん保険で賄えるケースなど、今後必要な情報を提供できるように取り組みたいと思います。

コロナ禍でのがん治療は、非常事態の中での対応でもあったと思いますので、なかなか思うように十分なケアが出来ずに人生を全うされた方もいらっしゃると思います。これは医療体制や人材確保、病院ごとの役割分担など、大きな課題が残った事案だと思います。こうした課題解決に向けて様々な政策提言を行っていきけるよう、勉強会や研修などを行っていきたいと思います。貴重な声を頂きましたことに心から感謝と御礼を申し上げます。

(稲津 憲護)

協働まつり報告



11月27日3年ぶりで府中協働まつりにブースを出展しました。例年のようにがん資料の展示配布、医療用ウィッグ(かつら)の展示、相談コーナーを設けました。

共同企画のポイントラリーもあり、多くの人に参加いただきました。

今回は画期的な企画として「東京都立がん検診センター」との共同出展が実現しました。

検診センターからは休日にもかかわらず3名の方が参加され、パンフレットの配布、乳がん触診モデルの展示など全面的なご協力をいただきました。

今後も検診センターとの協働を進めていくことを確認し、無事終えることができました。講演会后1週間という時間

間もなく、担当者には大きな負担をお願いすることになりました。コロナの影響は今後も予断を許さないですが、お手伝いが可能な方はお声がけください。みんなでイベントを作り上げていきましょう。



本年は6月に総会・講演会、11月協働まつり、12月講演会を開催予定です。会員の皆さんの参加をお願いします。

会費未納の方には振込用紙を同封しています。ご不明の場合はお問い合わせください。

2023年の予定

予定変更、中止になる可能性があります。いずれの催しも当面参加人数に制限があります。できる限り事前の確認、参加予約をお願いします。

日時	行事	会場
1月9日(月・祝)	患者会	プラッツ 第4会議室
3月26日(日)	患者会	プラッツ 第7会議室 B
5月28日(日)	患者会	プラッツ 第7会議室 A
6月25日(日)	総会・講演会	プラッツ 第3会議室
7月23日(日)	患者会	プラッツ 第4会議室

編集後記

すごい寒波ですね。北の方心配です。旅行で地元商品券をもらい、思わず日本どうなるのかと思いました。いずれ子供や孫が払ってくれるのでしょうね。検診センターの皆様には本当に感謝です。

発行 府中がんケアを考える会・会報編集部

連絡先 183-0053 府中市天神町3-7-47 武智 一雄
電話 090-7729-4429 Mail: ktakechi@fuchugancare.org